

## 第 34 回 池田町行財政改革推進委員会 議事録

日時：令和 5 年 1 月 12 日

午後 1 時 30 分～5 時 00 分

Zoom によるオンライン会議

### 出席者（敬称略）

○委員 9 名：（名簿掲載順）

和澤忠志（途中参加）、宮嶋將晴、山沖義和、丸山史子、瀧澤洋子、村端浩、山崎正治、赤田伊佐雄、辻庄市

○事務局（総務課） 2 名：

宮澤達（総務課長）

塩原長（企画係長）

（司会：宮澤達）

### 1. 開会（丸山副会長）

### 2. 会長あいさつ（山沖会長）

昨年末に町からロードマップが示されたので、今日はその勉強会と位置づけたい。財政シミュレーションは残念ながらまだ示されていないが、早急に提出をお願いしたい。

一昨年 5 月から始まった当委員会も 1 年半以上になり、あと 2 ヶ月半を残すのみであり、最終コーナーに入った。今後、ロードマップと財政シミュレーションを踏まえて最終答申を作成し町長に提出することになる。

そこで、今日はまずロードマップについて委員の皆さんから忌憚のないご意見をお願いしたい。

### 3. 総務部会報告（塩原係長）

日時 1 月 6 日（金）午後 2 時～ Zoom によるオンライン会議

出席 山沖会長、宮嶋委員、村端委員、辻委員

オブザーバー：山崎委員、和澤委員

内容 ・ロードマップについての事前打ち合わせ

・委員会に向けての『『ロードマップ』に関する確認事項、問題提起』の取りまとめ。

### 4. 協議

協議に先立って事務局塩原係長から財政シミュレーションの作成に関わる日程について、次のような報告があった。

財政シミュレーションを委員会に提示できるのが予定より遅くなり、2月27日になりそうだ。その理由は、現在、町長一般査定が終わったところなのでそれを反映したいということ、今年度退職する職員もいるのでそれが公表できる時期を見て人件費を出したいということだ。なお、2月中旬以降の議会全員協議会に示した上で委員会に提示する流れになる。

委員会では、これを受けて「議会全員協議会が開かれる2月20日後のできるだけ早い日程で委員会を開く」こととし、ロードマップに関する協議の後「今後のスケジュール」の中で話し合うこととした。

## ○ ロードマップについての事前打ち合わせ

### 山沖会長

このロードマップについて町の方から主な内容について説明を願いたい。

### <第一次答申>

### 塩原係長

<「答申項目の達成状況と今後の実施予定（R4.12.27時点）」のうち、項目1～16に基づいて説明>

### 山沖会長

「組織体制の見直し（8）」ではR5年度から9課にするとなっているが、どこを増やすのか。またその理由は何か。ここでは業務量の増加としか書いてないが。

### 宮澤課長

行革委の答申を受けて産業振興課と建設水道課を統合して今年度に振興課を設置したが、来年度はそれをもとに戻したい。振興課の守備範囲が広がってしまい、体調不良の職員も出たこと、新たに農業法人を設立する問題も出てきたため、従前の2課に戻したいということだ。

### 山沖会長

今、体調不良者の話があったが、4の備考欄には「療養休暇3名」とある。具体的にはどの課なのか。

### 宮澤課長

3名のうち振興課で2名、保育関係で1名だ。

**山沖会長**

仕事の忙しさが原因なのか。

**宮澤課長**

業務の忙しさもあるし、人間関係的なこともある。

**辻委員**

正規職員の数は実人員のことか。そこには、育休や病気療養者は含まれないのか。

**宮澤課長**

籍のある職員の数だ。ここには育休や病気休暇の職員も含まれる。

**辻委員**

それでは実人員はこれよりずっと少ないということになるのか。育休が増えると、育児休業手当に振り替わるために、職員人件費は減るということになるということによいか。

**宮澤課長**

その通りだ。ただ、穴埋めとして会計年度任用職員を採用するので、育休の職員分の人件費がそのまま減るわけではない。

**山沖会長**

病気療養者にも会計年度任用職員を充てているのか。

**宮澤課長**

補充なしでやっているところもあるし、勤務時間を長くしたりしているところもある。

**山沖会長**

それぞれ、会計年度任用職員は何人補充しているのか。

**宮澤課長**

人間単位で補充しているわけではなく、勤務時間を延長したりしているので、具体的に何人体制かはすぐには答えられない。

**山沖会長**

育児休業、病気療養休暇それぞれについて、会計年度任用職員をどのように充て、どのように対応しているのか早急に調べてほしい。

なお、療養休暇には役職者は含まれるのか。

#### **宮澤課長**

役職者は含まれていない。

#### **赤田委員**

8課から9課にする理由として、業務量の増大や病気療養者が挙げられていたが、1課を増やしたことで果たして問題が解決するのだろうか。もっと、理事者と課長との面談や課長補佐・係長と理事者・課長との面談などの仕組みを作らないといけないのではないか。業務量の増大が一時的なものであれば、そのプロジェクトを担当する専任の課長補佐を置くことで乗り切ることができる。

10課を8課にしたものが、1年も経たないうちに9課にもどすというのは余りに安易であり、腑に落ちない。

#### **山沖会長**

業務量と課を増やした関連について説明をお願いしたい。

#### **宮澤課長**

課長の守備範囲が広がり、細かい出張も重なって、課全体が回らなくなってきた。課の業務も把握しきれなくなった面も大きい。そうした実情を見て戻したいというのが理事者の判断だ。

#### **<第二次答申>**

#### **塩原係長**

<「答申項目の達成状況と今後の実施予定（R4.12.27時点）」のうち、項目17～25に基づいて説明>

#### **山沖会長**

「附属機関の統合（17）」では「各担当課で随時検討」となっているが、いつまでにという実施時期について考えているのか。委員の任命数では「次期改選時に向けて」と、そのメドが一応書かれている。随時となると、ずっとやらないことかと思ってしまう。

#### **塩原係長**

基本的には改選次期に考えることになる。ただ、任期が異なる委員会もあるので、ややぼかした言い方にならざるを得ない。

### **山沖会長**

基本は、次期改選時に向けてと考えるとよいということか。

### **塩原係長**

そのように考えてもらえばよい。

### **山沖会長**

そうすると、「委員数の削減（19-1）」では次期改選が令和7年度だが、結果の反映が令和6年度となっている。これはどう考えればよいのか。改選次期より前倒しでやるということか。

### **塩原係長**

後ほど調べて回答したい。

### **丸山委員**

農業委員の任期は3年だ。現在の委員の任期はR6までとなる。新しい農業委員はR7からとなるので、R6に結果の反映というのはわかりにくいのではないか。

<休憩時に塩原係長から上の質問に対して以下の回答があった>

農業委員はR6に募集しR7に着任する。募集するときには決めておきたいという趣旨だ。

### **山沖会長**

19-2、20、21も前倒しで出来るのではないのかということも聞いておいてほしい。

### **<第三次答申、第四次答申>**

#### **塩原係長**

<「答申項目の達成状況と今後の実施予定（R4.12.27時点）」のうち、項目26～62に基づいて説明>

### **山沖会長**

金の鈴会館（56）はR5に協議を行いR6に結果を実施すると言っている一方で、検討中でいつまでに実施するのかが示されていないものも多い。それは、実施時期は示せないということか。

### **塩原係長**

検討する中で時期が示せるものも出るだろうが、今の時点では目標が立てられないとい

うことだ。

### **山沖会長**

いつまでにといいものがないとロードマップにはならない。

「庁舎（50）」について、今後20年間現庁舎を使用するとなっているが、20年の根拠は何か。

### **塩原係長**

個別施設計画に80年間の耐用期間があるとなっており、そこから20年という期間を出している。

### **山沖会長**

途中で大規模改修はやるのか。

### **塩原係長**

いま個別施設計画書がないが、それに基づいてということになるのではないかと。

### **村端委員**

「北保育園（57）」について、「地域住民の意向に配慮しつつ」とあるが、他の部分にはこの記述はない。住宅密集地にあるわけでもない北保育園を特別に地域住民に配慮しなければならぬ事情とは何か。

次に、個別施設計画の見直しにすでに着手しているという話を聞いた覚えがあるが、現状はどうなっているのか。

### **塩原係長**

見直すと言っていたのは、個別施設計画の上位計画である総合管理計画のことで、これは昨年度に見直しを終えた。個別施設計画については、見直しの必要性はあるが、今のところいつ実施するかは決まっていない。

### **宮澤課長**

北保育園については、かつて地元自治会から跡地を憩いの場や、駐車場あるいはゴミ置き場にして欲しいという要望があった。町としても一度話し合いをしたいと考えてきた。

### **村端委員**

その話があったのはいつか。

### **宮澤課長**

確認させてほしい。

### **丸山委員**

「保育園（34）」について、「R5に方向性を決定しR6、R7で対応する」となっており、さらにR8には「新しい環境での園生活開始」とされている。この「新しい環境」とはどのようなことを指すのか。

### **塩原係長**

それについてはまだ決まっていない。来年度の検討によってはその方向性も変わってくる。

### **丸山委員**

令和3年度に学校活性化委員会の中の特別委員会が2案を提案している。一方で、行革委員会からの答申では、「児童園児数の動向を見極めた上で10年後を目途として再編を検討」としている。両者の意見を合わせて検討して行くということか。

### **塩原係長**

こちらでは、その点は言いかねる。来週の町長との意見交換で聞いて頂きたい。

### **村端委員**

ここに言う「令和3年度の答申」とは、特別委員会の答申のことだろう。町長は、前の委員会との意見交換の場で、特別委員会の2案と行革委員会の案との「3案でいく」と明言している。しかし、ここでの計画を文字通り読めば、3案ではなく「2案をもとに」としか読めない。つまり、理事者の目を通して書かれたものとはとても思えない。「行革委員会の案を含め3案を検討し」というのなら分かるがそうならないのは何故か。

### **塩原係長**

それも来週の間で聞いて頂きたい。

### **山沖会長**

普通に読めば、いま指摘があったようにしか読めない。この箇所については、我々の答申も含めて考えて行くという趣旨なのか。

### **村端委員**

それより、すでに我々の答申が出ているわけだから、それを踏まえて検討すると書くのな

ら分かると言っているだけだ。そうでないのなら、何か特別なことがあるのかと聞いている。

小学校についても同様で、この書き方で行革委員会の答申も含めて検討するという意味だと言われても納得できるものではない。

#### **山沖会長**

ハーブセンターとハーブガーデン（41～47）が「一体的に」となっているが、これは切り離しができないという趣旨か。

#### **塩原係長**

両者を一体的に管理した方がよいという答申であったためにこのように考えているのではないか。一体的にするために、西側の指定管理者が終わる R8 に向けて東側も検討していくということだ。

#### **山沖会長**

それは逆で、平成 8 年度以降は一体管理が考えられるけれども、それまでの間についての考えについては回答がないではないか。

#### **塩原係長**

そこに記載してある通りだ。

#### **山沖会長**

ハーブセンターは確かに令和 7 年度に現行の指定管理が終わり、令和 8 年度が節目になるが、ハーブガーデンはそれまでに改革すべきことは沢山あるはずだ。

#### **塩原係長**

一体的に管理するということがしか言えない。来週聞いて頂きたい。

#### **<第五次答申>**

#### **塩原係長**

<「答申項目の達成状況と今後の実施予定（R4.12.27 時点）」のうち、項目 63～83 に基づいて説明>

#### **山沖会長**

「社会福祉協議会（66、67）」では、令和 5 年度に方針決定までやるとしているが、「商工会（68、69）」はできないのか。両者に違いがあるのか。また、「全般的な課題（63～65）」では令和 7 年度以降に「適正なタイミングで是正」と書き、社協も商工会も実施時期がバラ

バラだが、何か理由があるのか。

### 塩原係長

それぞれ担当課の都合がある。たとえば 63、64 については総務課企画係担当で、R5 は総合計画の見直しに注力するため、R6 に調査・検討とした。社協は福祉係、商工会は商工観光係が担当なので、それぞれのスケジュールが反映されている。

66 以降は「全般的な課題（63～65）」から抽出したものになっているので、担当各課の都合に沿って進めることになる。企画係から役場全体に令和 6 年度に声掛けをする。その時点では、社協や商工会はすでに改善しているという可能性もある。

### 山沖会長

自治会パートナー制度（81）は、「住民ニーズを把握しつつ適切に対応」と書いているが、これも自治会ごとにバラバラに対応するということか。

### 塩原係長

そうだ。例えばあまり行政との接点がなかった自治会長に対しては丁寧に対応するし、役場 OB が自治会長になればご自身で役場の必要部署がわかるのでパートナーの必要性も少なくなる。一律にパートナーが働きかけるというより自治会長の実情やニーズに合った接し方をするという趣旨だ。

### 宮嶋委員

社協について、補助を 1,800 万円から 2,800 万円に増やした要因が事務局長の給料の 96% を町が見ていることにある。これはおかしいのではないかという答申をした。社協は介護保健事業もやっており 2 億数千万円の収入がある。事務局長は、福祉・介護の両方に責任を負っているために比率を適正化すべきだというのが答申の根拠だ。

しかし、この表を見ると、これから調査研究して実施が令和 8 年度となっている。池田町の民間事業者から見ても問題があるし、令和 5 年度から兼務比率を適正に定め（6：4 あるいは 5：5）減額すればよいだけだから、すぐにでもできる簡単な話だ。

こうしたことができないのが今の理事者だ。それを 2 年も 3 年も調査研究してやらなければならないというのが全てであり、我々の答申に対する答えだ。

職員が書いただけのようなものを提出していたのでは、理事者の姿がどこにも見えない。残りの 1 年の任期で何をやるうとしているのか、すべて先送りで決断も何もない。こんな議論をやっても無駄だ。

### 山沖会長

今日の後半では、理事者との意見交換をするにあたっての進め方について協議したい。区切りがいいので、一旦休憩をとりたい。

## <休憩>

### 山沖会長

では、来週の町長との意見交換についての話に移りたい。

すでに委員の皆さんには『『ロードマップ』に関する確認事項・問題提起』が送られており、これに沿って話し合いたい。

これは、先週金曜日（1月7日）の総務部会で話し合い、「全体的な問題点」と「個別の問題点」に分けてまとめたものだ。

<以下、文案に沿って要点を説明>

まず、全体的な問題点について意見をお願いしたい。

### 宮嶋委員

ロードマップとは目標達成の道筋ということなのだが、この表ではまず目標が設定されていない。83項目のどれを見ても検討だとか調査だとかとなっている。目標を設定し、何年には何をやるというのがロードマップだ。だから、今日出されたものは「答申に対する行政の現時点での考え方」と表題を置き換えた方がいい。これはロードマップ以前のものであって、納得できるものではない。それぞれの担当課で書いたものを寄せ集めただけで、理事者の決断ができないことがこれで窺える。

①に書いてあるように、理事者がまず職員の先頭に出て、この問題はこうするというリーダーシップがなければ答申は実現しない。その姿勢がない以上、今になって変えるわけにもいかないし、話し合いをいくらやっても変えられるものではなく期待もできないと思っている。2年間議論して答申してきたことが、残念ながらほとんど絵に描いた餅になっていると私は評価せざるを得ない。

### 村端委員

答申内容について、何年もかけてその検討を続けなければいけない課題はそんなにはない。すぐにでもできるものがなぜこの表で示せないのか。そこに現在の理事者なり管理職なりの問題点が凝縮されていると言わざるを得ない。

個別の話にも関わるが、「行政サービスの向上（77～81）」のうち、78の「理事者、管理者のマネジメント能力の向上」の項を見ると、「研修を随時行い管理者のマネジメント能力の向上に努める」とある。一体誰がどのように研修をするのか。こうした回答が平気で出されてしまうことに問題の深刻さを感じるし、私たちが真剣に検討して答申したことに真剣に答えようとする気がないのではないかと非常にがっかりする。

ともかく答申をもう一度読み込んで、行政全体としてしっかりうけ止めてほしい。

## 辻委員

私も皆さんと同意見で、この回答には全く真剣味が感じられない。検討を先延ばしし、委員会の任期が終了して熱りが冷めた頃に、検討はしたが現状維持だという結論を出そうという姿勢が見え見えだ。ロードマップとは言えないという意見もあったが、残念としか言いようのない内容になっている。

## 山崎委員

私たちはこの83項目を100時間以上の労力を使って出したので、これを無に帰すということがあってはならない。これをどう行政に反映させていくのかが問われるが、現状はいま3人が話された通りロードマップには値しない行政用語が並んでいるだけに終わっている。「検討する」というのは、やらないということと同じだ。

この83項目をどう実施していくのかについていえば、モニタリングが必要となる。この答申を実効性あるものにするために、第二次の委員会が必要かどうかは別としても、何らかの機関を作って今後の実行を調査・精査していく必要があると思う。

12月議会一般質問で、関連する質問が議員から出されたが、町長からは明確な答弁はなかったと記憶している。

委員会では、答申の実行状況を検証する機関を作るよう提言するのはどうか。池田町の明るい未来を作っていく一つの方向を提言しているわけで、それをどう実効性のあるものにしていくのか。せつかく答申を意味あるものにするのもこの委員会での検討課題ではないか。

## 山沖会長

今回示されたロードマップも踏まえて、最終答申でどう取りまとめるかという話だったと思う。他にご意見は。

## 赤田委員

皆さんの意見の通りで、このロードマップを見ると、役場でこれをどう活用してどのように実際に動いていくのかが見えない。検討すると言っても何を検討するのか。例えば、商工会や社協の補助金問題でも1年も2年もかけて検討する話ではない。

財政建て直しをすべきときに、100万円でも200万円でももったいない。そうしたことがロードマップには少しも表れてこない。事務局から作れと言われて、ただ作ったに過ぎない。

このロードマップを理事者が見ているのがどうかさえ分からないが、理事者の意志が少しも入っていないし危機意識がない。これが理事者の認識なのだとすれば、先ほどの宮島委員の話の通り「のれんに腕押し」だ。この温度差を埋めないと、私たちが2年間やってきたことが、これからの行政運営に果たして活かしてもらえるのかどうか大変疑問に感じる。

当初からのボタンの掛け違いがこのロードマップに表れているという気がして、残念で

もあり切なくなる思いでもある。

### **瀧澤委員**

皆さんの意見と同じなのだが、すぐにできることも取りくんでいないように思える。また、研修すると書いてあるが、マネジメント能力とかリーダーシップ能力について自分たちのどこが足りないのかが分かっての研修でなければ意味がない。何よりも行動を起こさないことには成果は期待できない。

町民のある方から「委員会は何の役にも立っていない」と言われて、すごく傷ついた。委員会としてはしっかり答申しているにも関わらず、すぐにやれることに即取り組んでもらわないと町民には何も動いていないと映ってしまう。その点に理事者や課長の皆さんは責任を感じて、取り組みの成果を見せてほしい。

それには、具体的に優先順位を決め、取り組む担当者を明確にし、管理するプロジェクトチームをつくり、定量的な目標を定めて実践すること、行動を起こすことだ。そうでなければ、結局委員会に対しても行政に対しても町民の不信感をいっそう広げてしまうことになる。

### **山沖会長**

我々が求めていた表のうち「答申の達成度」が空欄になっている。ここは自己評価をしてほしかったところだが、なぜ空欄なのか。

### **塩原係長**

行革委員会が評価して入れる欄だと思っていた。

### **山沖会長**

実行の進行状況を自ら評価して入れるのが普通のロードマップだ。○△×で構わないのでうめてほしい。瀧澤委員の話にあったように、課長のみなさんがどう評価しているのかが分かるようにしてもらいたい。

### **塩原係長**

こちらの勘違いもあったので、今後入れたい。

### **山沖会長**

では次に「個別の問題点」に移る。

<プリントの記載に従って説明>

### **村端委員**

私が問題意識として持っていたことは、ここに書かれていることでほぼ尽きているが、若干補足的な意見を述べると、⑤と⑥の間に入ると思うが、「旧教育会館（53）」について、最後まで「検討」となっているのはどういうことか。もともと教育委員会が入っていたあれだけの建物を倉庫にしておいていいのか。これは既に議会でも問題にされている。それをいつまでも検討し続けるということはどう感じているのか、さっぱり分からない。勿論他にもそれに類したところがあるが、このような扱いについては一言触れておくべきだ。

教育委員会が使っていたこの建物は、使い勝手のある建物であり、子ども達に自由に開放するとかのやり方も考えられると思う。

次に、「情報公開等の徹底（83）」には、答申の求めに対して「ホームページを充実させる」程度のことしか書いていない。私たちは答申で、情報提供の質をどう向上させるか、その示し方の内容にまで踏み込んで提言している。答申に真剣に答える意志が見えないところに、現在の行政の姿勢や方向性が表れている。全体的な問題点と個別の問題とが深く関連していることを強く感じる。

### **宮嶋委員**

「職員の駐車場問題（51）」についてだが、現在は駐車場で120万円、敷地で125万円、年間245万支払っている。令和8年度の契約終了時に駐車場の返還をすることはいいとしても、財政ひっ迫の現状があるわけだから、それまでに満額とはいかないまでも職員に駐車場の使用料を出してもらおうことがあってもよい。それは月1,000円でも500円でも構わない。町長が決断をして職員と話し合えば済む簡単な話だ。結局決断する気がないということは、この一例を見れば分かる。どれをとってもリーダーシップを取る決意が見えない。

### **辻委員**

補助金についても、満額ではないにせよ令和5年度予算で改善をしてくれるのではないかと期待していたが、これを見る限り、令和5年度予算はとりあえず前年と同額にし、1年かけて検討するという事になっている。答申を真摯に受け止めて対応しようという気持ちがないというのがはっきり表れている。補助金の額の検討になぜ1年もかかるのかが、全く理解できない。

### **丸山委員**

そもそも、私たちの委員会がスタートした出発点は、町の財政危機だ。宮嶋委員が「数字が全てだ」という発言があったことを今でも鮮明に覚えている。

このことが、今日の町の予定表には数字として出てこない。庁内で危機意識が本当に共有されているのかどうか。

理事者、役場職員、町民にみなさんも、いま町の財政が大変な状況にあるという認識を共有しながら、これからの町を考えていかなければならない大事な時期だ。町長との意見交換

では、この点をはっきり伝えていかなければならない。なかなか変わらないという話もあるが、とにかく向き合っていくことが必要だろうと思っている。

#### **山沖会長**

あらかじめ、事務局からこの文書を町長に手渡しておいてほしい。必要があれば、ロードマップを修正してもよい。例えば、本日の委員会において意見が示されたので1年前倒しにするという項目が出てくることを期待している。

我々としては、今日、受け取ったものが完成したものとは考えていないので、目標や期限を入れて出し直してもらえばいいのではないかと。それに基づき、町長が、当日、話してもらっても構わない。

#### **宮澤課長**

今日の意見を町長に伝え、変更する部分があればそのようにさせていただきたい。

#### **山沖会長**

前向きに対応してもらおうということによろしいか。

#### **丸山委員**

できるところは、どんどん着手して令和5年度の予算に反映してもらいたいと思う。躊躇する時間はない。家庭の家計に置き換えたら、もう破綻してしまう。

#### **村端委員**

この文書を事前に渡すのはいいとしても、町長がこれに何か回答をしなければならないと考え、それだけで終わるのでは困る。

我々が聞きたいのは、理事者としてどのような基本的な姿勢と方針でロードマップを作ったかということ、その基本ラインを示してもらいたいことだ。その上で、委員会としての疑問答えるというのであれば分かるが、これに回答するだけで済ますというのでは見当違いになる。

#### **山沖会長**

村端委員の話は当然のことであり、これに一々個別に回答してほしいという話ではない。そもそも、いつまでに何をやるのかをもう一度町長を交えて検討してほしいわけで、その際に、特にここに問題があるということを示している。町長と話をする際に一番大事な部分は「そもそも論」であり全体像だ。もちろんデータがなければ意味がないので、個別の話がそれに続くということだと思う。

### 塩原係長

今回の進め方についてだが、今日と同じように町長が端から説明をしていくのではなく、今日出して頂いたような問題提起部分を委員から質問形式で出して、それに答えるという形式でどうか。

### 山沖会長

まず、ロードマップを作成するにあたっての町長としての決意、方針を説明してもらわないといけない。庁内でもしっかり議論をし、できるものは前倒しをしたということがあってよい。修正できることがあればそうしてほしい。

それらを踏まえつつも、「全体的な問題点①」に示されている問いに答えてもらいたい。

予算査定をしているのであれば、どのように考えて予算査定を行ったのかなども含まれる。令和5年度予算に反映してもらいたいという気持ちがあったからこそ、これだけ一生懸命に（月2回も）審議してきたのだ。

### 塩原係長

今日のように1項目ずつ説明することは割愛させてもらい、質問の受け答えに時間を割きたい。

### 村端委員

個別の問題点については、町長がそれぞれについてその場で返事をする必要はないと思うが、ただ、ここには疑問点や聞きたいことは全て含まれているので、簡単でもよいから文書で考え方を示してもらえないか。町長の責任で出すことになれば責任を負わなければならないし、それがあれば質問しやすくなる。能率的に運営も出来るのではないか。

### 山沖会長

塩原さん、それは可能か。

### 塩原係長

この問題提起に対して書面での回答がほしいということか。先ほどは、回答がほしいわけではないという話があったと思うが。

### 村端委員

その場で事細かにこれはこうだということが主目的ではないと言っていただけだ。

問題点として聞き置くというだけにするというのであれば、それはそれでもやむを得ないが。

### **塩原係長**

基本的には口頭での返事になるのかと思う。

### **山沖会長**

文書が出ていれば、必要のないところは省いてもよいわけで、主要な問題に絞って質問できるという趣旨だと考えるが。

### **塩原係長**

19日には、この問題提起に関する回答書みたいなものを用意して、町長がそれを説明するということか。

### **山沖会長**

町長の説明は、先ほどの確認通りでよい。個別の質問については事前にもらえればその場で聞き直す必要がなくなるということだ。村端委員、それでよいか。

### **村端委員**

その通りだ。「その質問についてはこれをご覧下さい」という程度のものでよい。

### **赤田委員**

別の問題になるが、「全体的な問題点」の③に「理事者のリーダーシップ、マネジメントが見られない」とあるが、本当にその通りだと思う。このような改革のときには、組織風土が変わらないとなかなか取り組めない。2年経っても組織風土が変わったとは私自身は感じられない。

次回の町長の説明の中では、理事者として職員に何を訴え、どのように指示したのかを私は聞きたい。熱くなっているのは行革委員だけで、町長や職員は冷ややかな部分があるのではないか。ロードマップをみると「検討する」「研修する」となっていて、現状をよしとするところからスタートしている。それが正直不満だ。

理事者として、何を職員に訴えたのか、何をマネジメントしたのかを是非聞きたい。

### **瀧澤委員**

赤田委員の話の通り、現状の一番の問題は組織風土が変わらないことだと思う。委員会の答申を真剣に取り組み行動を起こせば組織風土も変わるはずだ。理事者に問題があっても周りの人たちが行動できていれば悪くはならない。理事者に一番の責任があることは当然だが、それを動かす周りの力がほしい。

## 山崎委員

「全体的な問題点」のうちの理事者の姿勢についてだが、一つのポイントになるのは町長任期があと1年ということだ。この一年のうちに、何をいつやるかということであり、先送りは許されない。負の財産を残されても困る。軌道修正し、健全化に向かっていく姿をこの一年で示すかがポイントだ。それを町長が本気でやるかが問われる。

2月に財政シミュレーションを示すということだが、この1年をどうするかでV字回復になるのか、横ばいか、あるいはそれ以下なのかの結果が出てくる。町長の決断力がほしい。

庁舎についても20年後に先送りするのではなく、中長期にわたってロードマップをしっかりと作り、財源を確保していくようにすべきだ。

一週間後に、このロードマップが修正されて返ってくるようにしてほしい。

## 山沖会長

この問題提起の回答を文書で出せないかという点についてはどうか。

## 塩原係長

事前にこの問題提起を町長に渡し、当日はこのような質問が出る予定なので、その際に町長から説明してほしいという形にしたい。従って、とくに文書でということは考えていない。

## 村端委員

どうしてもそうしてほしいという積もりはない。そんなものかと思うだけのことだ。

## 山沖会長

前にも言ったように、一番大事なのは町長の決意表明だ。どのような決意でロードマップをつくり、令和5年度予算にどのように反映させようとしているのか。この点をしっかり説明してもらいたいと思う。

個別の問題については、適宜説明してもらえればよい。最初の説明で不足するところがあれば、さらに細かい話にもなるかもしれないが、そこはしっかり答えられるようにしてほしい。

では、終わりの時間も迫っているので、今後のスケジュールについて相談したい。

## 5. 今後のスケジュール

財政シミュレーションの提示のタイミング、町長日程、議会の開催日などを考慮し、日程調整した上で、開催日時を次のように決定した。

第35回委員会 1月19日(木) 午後1:30～ 対面会議(町長出席)

第36回委員会 2月7日(火) 午後1:30～ Zoomによるオンライン会議

- 第 37 回委員会 2 月 22 日 (水) 午前 9 : 30 ~ 対面会議 (町長出席 11:00)
- 第 38 回委員会 3 月 8 日 (水) 午後 1 : 30 ~ Zoom によるオンライン会議
- 第 39 回委員会 3 月 20 日 (月) 午後 1:30 ~ 対面会議 (最終答申、ニュースレター等)
- 第 40 回委員会 予備日として 3 月最終週に行う可能性あり。今後の進捗具合によって具体的な日程を相談。

なお、和澤委員から、慰労会の提案があり、委員会の最終日を中心に実施する方向で事務局に日時、場所を設定してもらうこととした。

## 6. 閉会 (丸山副会長)

以上